

## 介護施設・障害福祉施設等における検討課題

---

- 感染者への適切な医療提供機会の確保
  - 治療進歩・ワクチン接種により致死率・重症化率は低下
  - 施設でも在宅でも治療時期を逸してはならない！
  - 軽症・中等症Ⅰ・中等症Ⅱ・重症への適切な対応
  - 円滑なワクチン接種と接種率の向上
- 感染発生時の従事者の確保
  - 都道府県が関係団体へ事業委託
  - 行政が関係団体等へ協力依頼する体制の構築
- 平素からの医療機関と施設の連携
  - 医療機関職員による施設へ教育指導
  - 医療機関は認知症・障害者等への対応力向上
  - 発生初期段階に現場へ赴き支援する機関等を事前に決定
  - 感染後の施設入所者への医療提供機関を事前に決定

## 医療崩壊・介護崩壊の防止に向けた最適化

---

- 介護事業所等におけるワクチン接種・検査体制の充実
  - 医師会やかかりつけ医による協力支援
- 介護事業所等と支援する医療機関のマッチング
  - 協力医療機関・関係団体紹介による医療機関のペアリング
  - 行政関連・医療機関による平時の介護事業所等への支援
- コロナ病棟への介護職員・リハビリ専門職の派遣
  - 認知症ケアや血栓予防・廃用症候群への対応
  - 医師・看護職員は本来業務に専念
  - 多職種協働による質の向上や入院期間の短縮へ期待
- 退院基準を満たした場合の円滑な受け入れ
  - 医学的根拠の共有とPCR検査の理解促進
- 介護事業所等で入所継続せざるを得ない場合の対応
  - 行政やマッチング医療機関の早期介入＋介護人材派遣
  - 本人・家族の望む医療提供と行政連携（入院確保）